



**UNITED NATIONS
UNIVERSITY**

2006年11月28日
MR/J43/06

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国際連合大学理事会の議長にスリランカのベテラン外交官、 ジャヤンタ・ダナパラ氏が任命される

今月初めに東京の国連大学本部で開かれた国際連合大学理事会の年次会合で、スリランカのジャヤンタ・ダナパラ大使が国連大学理事会の議長に選出された。

ダナパラ大使は現在スリランカ大統領顧問としての職責にあるが、外交官として、平和活動家として、また軍縮専門家として40年間にわたる目覚ましいキャリアを持つ人物である。このたび、ピーター・カチャビビ・ナミビア駐独大使の後任として、国連大学理事会の議長に就任することになった。

国連大学理事会は国連大学の最高意思決定機関であり、24名の任命理事（出身国代表としてではなく個人として任務に当たる）、国連大学学長、および3名の職務上の理事（国連事務総長、ユネスコ事務局長、国連訓練調査研修所所長）で構成されている。

ダナパラ大使は2004年5月から6年間の任期で国連大学理事会の理事に就任している。2007年にはハンス・ファン・ヒンケル学長の引退が予定されており、国連大学にとって過渡期にあたるこの時期に国連大学理事会議長に選出されたことで、同氏は転換期を統括する重要な役割を担うことになる。

「国連大学、国連システム全体、そして世界が重要な変革期を迎えている今、国連大学理事会議長に選出されたことをきわめて光栄に思っています」とダナパラ大使は語っている。「国連大学は、これまでの業績をもとに今後も力を結集し、国連の『シンクタンク』としてのユニークな役割をいっそう発展させ、国連の目的と原則に賛同する研究者や研究機関のネットワークを通じてアイデアと知識を創出・移転させてゆくものと確信しています。世界、特に発展途上国には、膨大な知的資源がまだ活用されずに眠っていますが、国連大学にはそれらを結集させる力があります」。

ジャヤンタ・ダナパラ氏略歴

ジャヤンタ・ダナパラ氏は短期間民間企業に勤めた後、1965年にスリランカ外務省に入省した。英国、中国、米国、インドの駐在外交官として勤務し、スリランカ外務省の非同盟運動局局長を経て、1984年にスリランカ駐ジュネーブ国連代表部大使（ウィーンの国連機関におけるスリランカ代表兼任）に就任。1987年、国連事務総長より国連軍縮研究所（UNIDIR）所長に選任される。

1992年、母国の外務省に戻り、1995年にスリランカ駐米大使（駐墨スリランカ代表兼任）に任命される。1997年、スリランカ外務省を引退し、米国のモンテレー国際研究所核不拡散研究センターに迎えられる。1998年から2003年までは国連軍縮担当事務次長を務める。スリランカに帰国後、2004年に和平調整事務局長、その後スリランカ大統領顧問となる。

ダナパラ大使の外交や軍縮面での功績に対しては、数多くの国際的な賞が授与されている。国連大学理事会議長という新しい役職のほかにも、武力の民主的管理のためのジュネーブ・センター、モンテレー国際研究所核不拡散研究センター、国際赤十字委員会などの機関で諮問理事を務めている。またストックホルム国際平和研究所の理事会メンバーで、ジュネーブの国際平和機構の名誉総裁でもある。4冊の著書があるほか、インターナショナルな雑誌にいくつもの記事を寄稿している。

ペラデニヤ大学（スリランカ）で英文学の学士号、アメリカン大学（米国）で国際関係学の修士号を取得、その他いくつもの名誉博士号を授与されている。

国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として1975年に設立された国連総会傘下の独立機関。研究機関、シンクタンクとして、本部（東京）を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ